

単元名 10より おおきい かず

配当時間 8時間

単元の目標 (1) 20までの数について、構成、系列や大小関係を理解し、読んだり、書いたりすることができる。とともに、数構成に基づく加減計算ができる。  
(2) 「10といくつ」という数の考え方ができ、数構成に基づく加減計算の仕方を考えることができる。  
(3) 「10といくつ」によって20までの数を表すよさを知り、進んで用いようとする。

## 標準的な展開例

01040201\_001

【準備等】数図ブロック、1から20までの数字を書いたカード、数直線

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 20までの数の数え方と読み方を知る。[p. 66・p67]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の絵を見て、動植物の数量について目を向ける。</li> <li>うさぎの数を数図ブロックに置き換える。</li> <li>20までの数詞を知る。</li> <li>数図ブロックを「10といくつ」に分けて、一目で分かるように並べる。</li> <li>単元の学習課題をつかむ。</li> <li>★20までのかずについてかんがえていこう。</li> <li>20までの数を数える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの数を予想することで、10より大きい数の導入を図る。</li> <li>既習の学習（10までの数の数え方）を想起させ、落ちや重なりがないように数えるには、数図ブロックに置き換えたり、数えた物に印を付けたりする工夫をするとよいことに気付かせる。</li> <li>数詞を唱え終わった結果の数が集合数になることを確認する。</li> <li>「じゅう」のまとまりと「さん」で「じゅうさん」と読むことを知らせる。</li> <li>「じゅう」と「いくつ」で「じゅういくつ」であること、「じゅう」と「じゅう」で「にじゅう」であることを確認する。</li> <li>【評】数図ブロックに置き換えて数える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>数図ブロックの数と数字を関連付けながら学習するようにさせる。</li> <li>「10と1で、11」「10と2で、12」のように数の構成を考えながら書くことができるようにする。</li> <li>ノートの1マスに書くようにし、十の位と一の位の数字の間隔が空き過ぎないように注意させる。</li> <li>【評】20までの数字を書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>大小比較では、数図カードを想起させたり、一の位の大きさに着目させたりすることに気付かせる。</li> <li>まず、10のまとまりを作ることが必要であることに気付かせる。</li> <li>数図カードなどを利用しながら、具体物の数と抽象化された数字のイメージをつなげる活動を行えたとよい。</li> <li>2のまとまり、5のまとまりで数えると、速く数えられることに気付かせる。</li> <li>【評】20までの数字に対応した数だけ数図ブロックを並べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>10といくつかを具体物や数図ブロックの操作と合わせて数を実感させる。</li> <li>10といくつかを考える中で、数の構成を理解させる。</li> <li>数図ブロックをイメージさせ、答えさせる。</li> <li>一の位の数字に着目させる。</li> <li>生活の中で数えることの必要性や数字で表すことのよさを実感させる。</li> <li>【評】身の回りから20までの数の物を見付ける活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>数の順序関係を理解するために、数直線が有効であることをつかませる。</li> </ul>
<p>2 20までの数について、数字の読み方、書き方を知る。[p. 68]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数図ブロックで20までの数を作る。</li> <li>本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★20までのかずのかきかたをおぼえよう。</li> <li>20までの数字の読み方、書き方を知る。</li> <li>20までの数を書く。</li> </ul>	
<p>3 数字と数図ブロックの対応、大小比較、数え方の工夫をすることで、20までの数についての理解を深める。[p. 68・p. 69]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★20までのかずをかぞえたり、おおきさをくらべたりしよう。</li> <li>数字カードの数だけ数図ブロックを並べる。</li> <li>数の大きさ比べをする。</li> <li>20までの具体物の数を数える。</li> </ul>	
<p>4 数の構成に基づく問題を解き理解を深め、身の回りから20までの数の物を見付ける。[p. 70・p. 71]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★10といくつかをかんがえよう。</li> <li>いくつか考える。</li> <li>10といくつか考える。</li> <li>「練習問題」に取り組む。</li> <li>生活の中にある物から20までの数に関係ある物を探す。</li> </ul>	
<p>5 20までの数の系列について理解し、数直線上の数を読んだり表したりする。[p. 72・p. 73]</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 20までのかずのならびかたをしらべよう。</li> <li>○ カードを順番に並べる。</li> <li>○ 数の線を見て気が付いたことを言う。</li> </ul> <p>○ 数の順序関係の問題を解く。</p> <p>6 10といくつの加法・減法の問題を解く。[p. 74]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 10といくつのたしざん・ひきざんをしよう。</li> <li>○ <math>10 + 4</math> の計算をする。</li> </ul> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>○ <math>12 - 2</math> の計算をする。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>7 20までの数の構成に基づく加法・減法の問題を解く。[p. 75]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 20までのかずのたしざん・ひきざんをしよう。</li> <li>○ <math>12 + 4</math> の計算をする。</li> <li>○ 「練習問題」に取り組む。</li> </ul> <p>○ <math>15 - 3</math> の計算をする。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>8 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p. 76・p. 77]</p> <p>○ 「たしかめよう」に取り組む。</p> <p>○ 学習の振り返りを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ だいちさん、ひなたさんの考え方を押さえる</li> <li>・ その数を入れた理由を話し合わせるによって、見付け方を確認する。</li> </ul> <p>【評】 20までの数の系列を理解し、数直線上の数を読む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数図ブロックを示しながら確認させる。</li> <li>・ 数えたすやり方から早く発展できるように、1つずつ数えさせないで答えさせるようにする。</li> <li>・ 「10といくつ」という構成から考えて、計算できるようにする。</li> <li>・ 「10と2」のうち、2から2をひくと10が残ることを確認する。</li> <li>・ 一の位を比較し、どれも10が残ることに気付かせる。</li> </ul> <p>【評】 10といくつの加法・減法の問題を解く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数図ブロックを示しながら確認させる。</li> <li>・ 10と <math>2 + 4</math> という考え方ができるよう促す。</li> <li>・ 一の位同士をたせばよいことを確認し、計算練習に取り組ませる。</li> <li>・ 「10と5」の5から3をひくことに気付かせる。</li> <li>・ 具体物→数図ブロック→数字、式などを工夫して支援し、具体から抽象にしっかり高めていくようにする。</li> </ul> <p>【評】 20までの数の構成に基づいて、減法の問題を解く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。</li> <li>・ 自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。</li> </ul> <p>【評】 問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20までの数について分かったことや楽しかったことなどを話し合わせる。</li> </ul>
--	--

【 備 考 】  
 本単元は、20までの数概念を身に付ける学習である。すでに10までの数概念、読み方、書き方、大小関係、加法・減法などを身に付けている。ここでは「10といくつ」という数の構成の考え方を中心にして20まで拡張して数概念を理解させる。身の回りにある20までの数に目を向けさせながら単元を構想することが大切である。